

科目責任者 佐野 和美（薬物動態学研究室）、野澤 玲子（臨床薬剤学研究室）

## ■ 教育目的

がん（悪性腫瘍）の病態を把握し、その病態に応じたがん化学療法、緩和ケアに関する最新の知見を学び、がん化学療法、緩和ケアにおける薬剤師の役割を理解する。更に、栄養療法の実際について学ぶ。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②・③】

## ■ 学習到達目標

1. がん（悪性腫瘍）の疫学、病因、病態について説明できる。（知識・技能）
2. 代表的な悪性腫瘍に対する薬物療法（化学療法・緩和ケア）について概説できる。がん医療におけるチーム医療について説明できる。（知識・技能）
3. 栄養療法の概念と基本的事項について概説できる。（知識・技能）

## ■ 準備学習（予習・復習）

予習：関連する病態生理学、薬理学について、授業資料又は教科書等の該当部分に目を通し、理解を深め必要に応じてノートを作成する。（30分以上）

復習：講義プリントに則して、内容を復習するとともに、関連事項について興味を持ち知識を深める。（60分以上）

## ■ 授業内容

本講座は、大きく3部門に分かれている。まず、悪性腫瘍に対する医療（非薬物治療・薬物治療）について学び、次に患者の基礎体力を維持するための輸液・栄養療法について知識を習得する。さらに、最新の緩和ケア療法の概念、あり方、治療の実際を学ぶ。

習得すべき知識は膨大であるため、前半の悪性腫瘍に対する医療の分野では、復習テストなどを用いて知識の確認を行いながら授業を進めていく。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	悪性腫瘍総論 1	がん化学療法総論Ⅰ（抗悪性腫瘍治療の全容、臨床検査値の読み方）	E2(7)-⑦-1～3
2	悪性腫瘍総論 2	がん化学療法総論Ⅱ（抗悪性腫瘍薬、分子標的薬、抗体医薬、支持療法）	E2(7)-⑧-1～4 E2(7)-⑩-1
3	悪性腫瘍 1	造血器腫瘍（白血病、悪性リンパ腫）、骨肉腫	E2(7)-⑧-5～7
4	悪性腫瘍 2	胃癌、食道癌（消化器系-1）、肝・胆道系癌、膵臓癌（消化器系-2）	E2(7)-⑧-8
5	悪性腫瘍 3	大腸癌（消化器系-3）、腎・尿路系悪性腫瘍（腎癌・膀胱癌）	E2(7)-⑧-8 E2(7)-⑧-12
6	悪性腫瘍 4	肺癌	E2(7)-⑧-9
7	悪性腫瘍 5	頭頸部癌、脳腫瘍	E2(7)-⑧-10
8	悪性腫瘍 6	乳癌、生殖系（前立腺癌・子宮癌・卵巣癌）悪性腫瘍	E2(7)-⑧-11・13
9	輸液・栄養 1	抗悪性腫瘍薬の主な副作用の軽減のための対処法（支持療法）と栄養療法の概念について	E2(7)-⑧-3 F(3)-③-5、6
10	輸液・栄養 2	栄養療法の概念と基本的事項	F(3)-③-5、6
11	輸液・栄養 3	栄養療法の実際	F(3)-③-5、6
12	緩和ケア 1	がん疼痛の分類・機序、痛みの評価 麻薬性鎮痛薬と WHO 方式三段階除痛ラダー	E2(7)-⑨-1 E2(1)-③-2
13	緩和ケア 2	WHO 方式がん疼痛治療法の実際	E2(7)-⑨-2
14	緩和ケア 3	緩和ケアにおける症状管理、オピオイドの副作用とその対策	E2(7)-⑨-2
15	緩和ケア 4	鎮痛補助薬、薬物療法以外の疼痛治療法	E2(7)-⑨-1 E2(7)-⑨-2

## ■ 授業分担者

佐野 和美（No.1～4）、鈴木 俊宏（No.5～7）、外部講師（No.8）、安 武夫（No.9～11）、野澤 玲子（No.12～15）

## ■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席状況・授業態度（10%）、および試験（90%）で総合評価を行う。

授業内で小テストを行った場合は、最終判定の参考とする。

## ■ 教科書

講義プリント

『緩和医療薬学』加賀谷肇 編著（京都廣川書店）

## ■ 参考書

造血器腫瘍、胃癌、大腸がん、乳がん、制吐剤適正使用、等各診療ガイドライン  
がん診療レジデントマニュアル第7版 国立がん研究センター内科レジデント編（医学書院）  
日本緩和医療学会 各ガイドライン (<https://www.jspm.ne.jp/guidelines/>)